

外国人介護人材の受入れ

西日本建和協同組合

事務局長 吉野淳一

外国人介護人材の受入れ制度

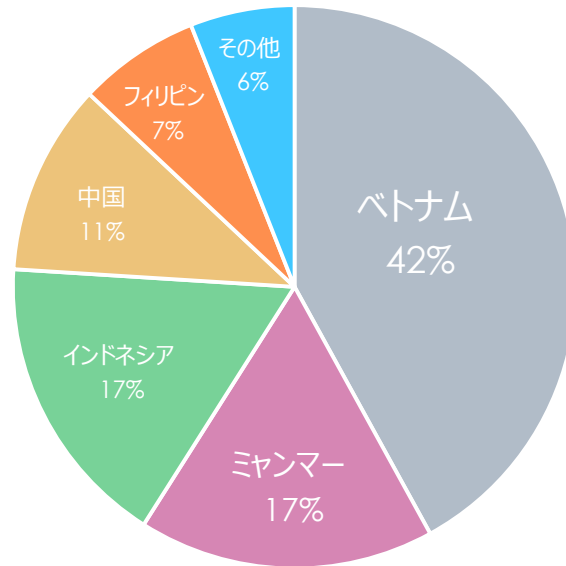
	日本語レベル	介護技能 (知識)	就労期間	夜勤	転職の可否	受入調整機関	住居の支援	受入れ 初期費用	月額コスト	課題
技能実習	○ (N4~N3)	○ (現地で160時間以上の介護教育)	最長5年	可 (ただし2年目から)	原則、不可	監理団体	あり	35~80万円	3万~5万円	送出し国によっては実習生本人の負担が大きい
特定技能	○ (N4~N3)	△ (ペーパー知識のみ)	最長5年	可	可	登録支援機関	あり	25~80万円	1.5万~3万円	現地政府が消極的
留学生 (介護)	◎ (N2程度)	○ (大学の福祉系学部の授業を受講)	学校卒業まで	可	可	なし	なし	なし	なし	週28Hの壁
EPA	○ (N5~N3)	○ (現地の看護系学校の卒業生)	制限なし (※介護福祉士の資格取得の場合)	可	(介護福祉士の資格取得前は) 原則、不可	JICWELS	あり	50~80万円	※年間2万円	マッチング率が低い

現在（2021年3月）の外国人介護人材の受入れ状況

技能実習

全国：13,672名

福岡県：615名



特定技能

全国：1,705名

福岡県：48名



《備考》

- 技能実習に介護職が追加されたのが2017年11月～特定技能の開設は2019年4月～
- 現在は入国制限があるため、国内在留の外国人の方が「特定技能」に資格変更するパターンが増えている
- 福岡県は留学生の数が東京、大阪に次ぐ第3位今後は「留学⇒特定技能」が増えてくるかもしれない

はじめての外国人受入れで気をつけるべきこと

- 孤独感を生むため、1名だけの採用は避けたほうがいい
- 家族のような関係性を築くこと
- 一人の教育担当者に任せきりにしない。役割分担を明確に
- 制度の概要を理解すること（無自覚なルール違反を起こさないこと）
- 本人の理解度を丁寧に確認すること
- 外国人が安い労働力である、という考えは早期に捨てる

